

第3章 取組の方向性

第2節 豊かで持続可能な地域のために

多文化共生の推進

- 多文化共生
- ▶ 外国人住民が地域の担い手となる社会の実現

【取組の方向性】

今後5年間は、本県に居住する外国人が生活・就労しやすい環境づくりを推進するため、地域日本語教育の充実を図るとともに、外国人支援を担う人材の育成等による多文化共生の推進を図るほか、外国人の地域社会参画を促進します。

また、引き続き、多言語による情報提供に取り組むとともに、外国人材の円滑な受入れなどを促進します。

【主な取組】

- ・産学官民連携による地域日本語教育の充実
- ・生活者としての外国人を支援するボランティアの育成 など

【対象国・地域と取組ステージ】

各種相談や資料の多言語化については、外国人住民数の多い国・地域を中心として各種相談や資料の多言語化を推進しますが、多文化共生の推進に当たっては、国籍や民族等を問わず取り組みます。

成果 指標

- 在県外国人支援に係る人材の登録者数 (R元) 355人 → (R7) 600人
- とちぎ外国人材活用促進協議会の会員数 (R元) 150人 → (R7) 330人

国際交流・協力の促進（友好交流）

- 友好・協力
- ▶ 次代につながる国際交流・協力の実現

【取組の方向性】

今後5年間は、従来の人々の往来を伴う交流に加え、デジタルを活用した新たな交流のメリットを組み合わせ、一層効果的な交流事業の展開を図ります。

友好交流や国際協力の原点である相互理解、国際平和に加え、SDGs等のグローバルな視点を養いながら国際化の担い手を育成するため、東京オリンピック・パラリンピックのレガシー活用や国際理解講座の新たな開催先の開拓に努めるとともに、青年海外協力隊等への参加機運の醸成を図ります。

【主な取組】

- ・デジタルツールを活用した文化・教育交流等の促進
- ・県民が交流先を身近に感じて活動に参加できる取組の促進 など

【対象国・地域と取組ステージ】

既存交流先：中国（浙江省）、米国（インディアナ州）、フランス（ヴォークリューズ県）、台湾（高雄市）

新たな交流先：ロシア（カルーガ州）、ハンガリー等

成果 指標

- 留学や海外とのオンラインを通じた交流や研修等を実施した高等学校の割合 (R元) 33.9% → (R7) 65.0%
- 国際理解に関する講座の開催件数 (R元) 78件 → (R7) 125件

第4章 SDGsの位置付け

SDGs（持続可能な開発目標）とは

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

本戦略におけるSDGsの位置付け

第3章の第1節においては、ゴール1,2,4,8,10,17を、第2節においては、ゴール1,3,4,8,10,11,16,17を関連するゴールとして整理し、目標の実現に寄与する施策を推進していきます。



編集発行／栃木県

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20 産業労働観光部国際課

TEL 028-623-2163 FAX 028-623-2199 <https://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/index.html>